



TITLE:

表紙・目次・編集後記ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・目次・編集後記ほか. 宗教学研究室紀要 2013, 10

ISSUE DATE:

2013-11-29

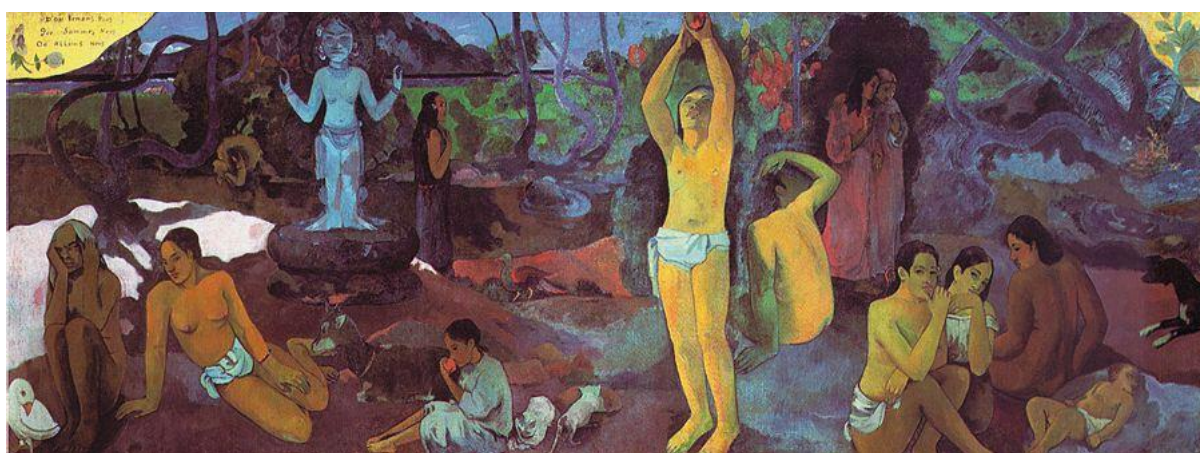
URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179573>

RIGHT:

# 宗教学研究室紀要

THE ANNUAL REPORT ON PHILOSOPHY OF RELIGION



2013 vol.10

京都大学 文学研究科 宗教学専修 編

オンライン刊行物 [http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/religion/rel-top\\_page/](http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/religion/rel-top_page/)

La problématique de la « phénoménologie de l'idée de l'Infini » du point de vue de  
la « méthode » lévinassienne

Eriko SUENAGA (3)

「精神の証言」— ベルリン期ヘーゲルの宗教哲学的宗教史研究とヤコービ批判

下田和宣 (31)

イリヤの他者—レヴィナス的倫理の出発点

根無一行 (53)

ヤスパース『原子爆弾と人間の未来』における哲学と宗教

藤田俊輔 (70)

ショーペンハウアーの『意志と表象としての世界』第一巻における知覚の虚妄の問題

鳥越覚生 (88)

西谷啓治の宗教哲学における「体験の立場」の意義と位置づけについて

長岡徹朗 (107)

ベルクソン『試論』における「持続」の一と多

山根秀介 (127)

編集後記

(149)

——宗教学研究室紀要編集委員——

氣多雅子	京都大学大学院文学研究科	教授
杉村靖彦	京都大学大学院文学研究科	准教授
安藤恵崇	高知大学	教授
美濃部仁	明治大学	教授

——第10号執筆者紹介——

末永絵里子	京都大学	非常勤講師
下田和宣	京都大学大学院文学研究科	博士課程
根無一行	京都大学	日本学術振興会特別研究員
藤田俊輔	京都大学大学院文学研究科	博士課程
鳥越覚生	京都大学大学院文学研究科	博士課程
長岡徹郎	京都大学大学院文学研究科	博士課程
山根秀介	京都大学大学院文学研究科	博士課程

\*\*\*\*\*編集後記\*\*\*\*\*

仕事柄、先入見を捨てることの大切さは身にしみていた積りであるが、何をするにせよ、どうも知らぬ間に習慣と慢心が生じてしまうようだ。編集作業ひとつをとっても、誤字脱字をはじめとして、書式の不揃いが、何度確認しても残ることには正直閉口した。大袈裟かもしれないが、個人の力の弱さと偏見の強さをつくづく実感した。それにつけても、ひとりでは気づけないことでも、ひとに見て貰うことで気づくことができることには、改めて驚かされた。十番目を無事に刊行できたのは、ひとえに友人や先輩、先生方の援助による。この場を借りて皆様に感謝いたします。

(鳥越覚生記)

宗教学研究室紀要 第10号 (京都大学 文学研究科 宗教学専修 編)

2013年11月29日発行

Articles

- La problématique de la « phénoménologie de l'idée de l'Infini » du point de vue de la « méthode » lévinassienne  
Eriko SUENAGA 3
- Zeugnis des Geistes. Religionsphilosophische Religionsgeschichtsschreibung bei „Spätphilosophie“ Hegels und ihre Kritik an Jacobi  
Kazunobu SHIMODA 31
- Autrui(s) dans l'« il y a » : le point de départ de l'éthique lévinassienne  
Kazuyuki NEMU 53
- Philosophie und Religion in Karl Jaspers' *Die Atombombe und die Zukunft des Menschen*  
Shunsuke FUJITA 70
- Das Problem der Falschheit der Wahrnehmung in Schopenhauers erstem Buch der *Welt als Wille und Vorstellung*  
Kakusei TORIGOE 88
- The significance and status of “the standpoint of experience” in Keiji Nishidani's philosophy of religion  
Tetsuro NAGAOKA 107
- Le problème de l'un et du multiple de « durée » bergsonienne dans *”Essai”*  
Shūsuke YAMANE 127